少年劍道教材配営表(昭和47.4.1)

- 1.本業は小学生を対照として立案してあります
- コ冬年年共各週2時间宛 各月8時向宛指導する ものとして立案してあります
- 3.人数指導者数の関係とて適宜組合にて運用 4.当す
- ☆基本動作は 指導教法の準備並に整理運動と制すす
- S 被称 地本動作、変用動作、結古 及試合、講話 行事となっています。
- 6 幼年弘学年の指撃は概由小等3¥生の教育 を基準として高宝指等する

- 3 1 準備動作
 - 1.礼 法 正坐 空礼 支礼 鉢卷 呼吸 懸声 2姿 势(自然件)
- 学 3目付け
 - 4構 え(布形角形) 竹刀の構える 竹刀の掘りす 構えの解さす 隣 蹑 竹刀の納めす
- 年 5足がはき 歩み足 用き及 経ぎ足.
 - 五 遗場の制法 後子空間の動作 中段の構造 林の遷州 正面打 左を面打 右守手打 右胴打 三段打 三段打 正面連續者 打逐正面打

到道講話 剣道の意義及が目的 任双相を動作 エ中段の構え

4 1 1 帯刀の姿整 体の運用

2支 礼 正面打 左右面打 3 按 + 刀 钩め刀 在甲手打 左腕打

2线打 三秋打 正面連続打

打逐正面打

五体の運用 踏切送足 オ州正面打人対し左右より提り上正面打

慧蒲サンリ (剣道サつり) ホカと日本刀の比較及取扱法 打空の部位 「竹刀空向動作 正 中段の稿 体の運用 学 帯刀の姿整 正面打 左右面打 右甲乡打 友朋打 えし 孩 17 納める = 较打 三段打 正面連続打 打逐正 面打 周上 竹刀相互動作 11 守殺の構体の運用 4」、増刀の姿整 证面打 左右面打 左甲手打 左胴打 2. 五 社 12 3 拔 7 刀 納めり = 钱打 三段打 正面連絡打 打汲 正面打 年 Ⅲ 体の運用 踏切送足. 掲打 正面打火対し右左より 搜上正面打

	3	
	高部3つり (剣道3つり)	
	着具相互動作 エキ殺の構え 体の運用	
5	工人带刀姿整 正面打 左右而打	
	2五 礼 左甲手打 发胴打	
学	3 按 力 納め刀 二 致 打 三 牧 打	
	正正面建绕打 打圾正面才	1
年	体の運用 踏切送足	
	排打正面打比対し右左より	1
	撰上正面打	
	17 体の運用	
	王面打比对儿孩正面打	
	正面打 K 对 L 拔 左 胴 打	
	友甲子打以対し校正面打	
	五甲手打に対り拔支甲手打	
	A L	
,	工着具相互動作 頂俸の運用 踏切送足	
6	了带万字整 排打正面打下对 D 有	20
	2支 礼 \$1撰K正面打	
学	三枝17万纳的刀 区体为莲用(斜连选)	
-	五中級の構、体の運用 正面打火対し抜い面	
军	玉面打 左右面打 正面打火村 b 按左胴	
T	五甲手打 五胴打 カ甲手が、対し扱正	
	二鞍打 三鞍打 右甲手打以打片板右	
	出頭並甲令打 攻込み方 落し上面打	71
	が鳴りと其の意じ方	
	オラフェスのありつ	

		講該衛生よの注意
		竹刀と日本力の比較及取扱法
	3	丁田刀次形 丁叶的八世
	De Kin	1 帯刀姿整 11 中鉄の構 体り運用 立 礼 正面打 左右)面打
		技4刀纳×刀 在中手打 在胴打
	年	二钱打 三线打
		正面連続打 打逐正面打
		講該 恋即打
	4	1署具相互動作 Ⅱ 中般の構 体の医用
	学	1. 帶刀姿整 正面打 友(知面打 2. 立 礼
	4	3 拔7刀 纳的刀 乙段打 三段打
	年	正面连绕打 打运正面打
34		Ⅲ体 市運用 謝切送足
		排打正面打比対し右左より摺上正面打
		司 与 相至打近打运練習 and
	5	看头相211 区 41 区 外省 。 前進打込
	学	前边孩混打逐打还
	年	左右進升逐 打込
	-,	MX
	6	若具相至打这打运榜节
	学	前追獲退打逐打运
	14	加 追 须运行还行 20 左 左 连 行 20 行 20
	4	12/12/11/2
10.5		

	1 14
3 学年	暑中稽古 見学とその心得 エサ刀基本打込打込練器 耳前進打込打込練習 前途後退打込打込 左右進打込打込
4学年	同 上
ちは手	周上 大強連軽 着具対的災川稽古 2/復七小島の村方 とその策レウ
6 学耳	用 工 相互明创工 著具対師 甄。铭专 1. 打实の裁查 2. 鹤世?会の打方 と其の態で方

基本練習 正足さばき 正素振り 工權九 自然体 1. 歩み足 1. 上下振り 中段の構え 2.送り足つ斜の振り 3.つぎ足 火南き足 Ⅳ 打死 1 連続左右面 正面>連続左右面 4周上 着具対 师打込打返稽告 1.前近打込 年 2前追後退升逐升及 3左右连打还打込/ 国工 5 考具对师照り稽古 学 耳 国工 6 着具対肠懸り稽古 学 耳

3 等 年	講話 試及の意義及の礼式 】 対野生南動作 「帯刀の姿態 」主 礼 3 投・刀 納め刀 中投の構え 体の深用,正面打,左右面打 右甲手打 を明打 二段打 三段打 正面連続方 打造正面打 高道并込む逐升心 左右追打返行込 打ち正面が 前進升込む逐升心 左右追打返行込 打ち止る
4 岩河	四 二 剣道日常生治 . 三 川 河 湾 整 正 中校構 外の屋印 三 章 元 正 市 打 左 (的 面 打 三 章 打 三 校 打 正 面 達 底 打 正 面 で 正 の 達 配 計 正 体 っ 運 の 踏 加 送 足 4 4 打 正 面 打 一 で 面 打
与野田	同 上 着具相至幾 9 結 表
6 学年	周上 平常心 足 道 著具物至軽り積も 1.系表实 5 文頭 お甲子介 ス 遅 正 南 打 6 刀 を 切 え 面 有 ア 、

3 学年	試合 併刀相互動作 1 打作电方
1	打逐式而打 正/前進計込 立箭進 後退 折返 計込 3左右直 打退 打込
4 学年	行力相立動作 I 甲段構え 体の運用 エスポカ京整 正面打 左右面打 ユネ えし 右甲等打 左腕打 ス抜け刀 付きの 一段打 正 東打 正 面連続計 打延正面打 正 入行の電用 まが切 送足 ス投打 正面打 対し 左左 5 5 7 7 9 1 に正面打 ラ右左 4 5 7 7 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ち学」十	着具相及引左稽 告
6学年	着具相互引立稿表 表実、 は頭に面打 攻ショカ 裏正面打 出頭右甲子打 体委員と 退右甲子打 カラモル エ西打 表の変し古

道具と甲冑との比較 満具の着股法 道具の整理法 着具相五動作 当 エ打ちせ方 正す殺の構え体の運用 正面升(左)右面打 , 带刀等整 左甲手打 石胴打 3. 生 末し 二致打 三致打 3报77街7 正面正統打 打还正面打 Ⅱ 中殺の構え体の正用 其亦動作練想 正面打左(6)面打 4 着具相互動作 在甲手打 龙胸打 工业带用辛聚 二般有 三线打 2. 五 方 正面連続打 打双正面打 3 按77 被37 1 町/体の運用 誘切送足 2.私打正面打火村 1 右点 的 指上正面打 前实 月上我心 孫 他教科之劍並 背 著具相互聚り 精支 6 著具对肠或唇箱击 季 丰

着具相互打込打逐練習 エ 中致の構え体の運用 I 打たせ方 正南打 左右而打 / 带刀安整 23 社 左甲手打 左胴打 二段打 三段打 3. 拔5刀 纳加刀 年 正面連続打 田 前進打込 前连线泡打包打込 左右连打逐 打込 18 L 着具祖至打込打逐練習 4 サ 中致の構え体の煙用 エ打たせ方 岸 正面打 左右面打 1.带刀姿弦 2. 左 礼 右甲手打 发胴打 二十 3技7万纳的刀 一般打 三段打 正面连続打 打造正面打 **Ⅲ外**の運用豬切送足 TV 前道打込 排打正面打 · 对 前道 後退打逐 打込 右左より摺上正面打 同上 学年 着具相互鐵合稿艺 6 EL 着具相互部合给古 八八五

		1 17
		寒稽古練器上の注意
and the state of the case of t	3 等 年	常具対象打込打込賃留 I 1.有 p e t す で 1 中後の構に体の運用 フ 市 フ 幸 な エ 車 1 「 左 石 南 打
-		前连统记 打逐行以 左右進打逐 打込
- dispersion	4学年	真剣 味 着具が時異り発生 対失の機会 傷せり合か行方と共変け
-	5学年	真剑味 著具衬纤维,徐**
1	6学年	着具相互襲。故合
1	-	-Au-

	-	2 30
	四沙山	着具对 师强 n 稽古
	午学斗	同 合 著具相互骤 1 試合
	ちずず	驚懼, 疑惑 着共和支票, 試会
	6学年	着具相互颚:就合
-	四半年 中华上	3 月 著用相互襲り稽古
	子学ン計	着用相至到立辖古 打实可機会 辖地从全市打方上其の東巴方
-	ち学年	形 上段の構む 下段の構え 剣道形本
T	6	文式不收
-	学习	形上战の構下我の構 血点大、土本
-		